

平塚市総合計画平成25年度版実施計画（素案）に対するご意見及び市の考え方について

1 概要

平成25年度版実施計画（素案）に対し、市民から意見を募集した。

意見の募集期間 平成24年12月7日（金）～平成25年1月7日（月） 32日間

意見の提出方法

- ・ホームページの意見フォーム
- ・公共施設に設置した意見カード
- ・ホームページから「意見カード」をダウンロードし、郵送、電子メール等で送付

2 意見者数等

意見者数 2人

意見カード受付件数 8件

意見数 8件

【内訳】 個別の事業に対する意見 4件

その他の意見 4件

3 意見対応について

別紙「平塚市総合計画平成25年度版実施計画（素案）に対するご意見及び市の考え方」のとおり

平塚市総合計画平成25年度版実施計画（素案）に対するご意見及び市の考え方

No.	対象事業名	パブリックコメント	市の考え方
1		<p>平塚市では、三大プロジェクトをはじめ、見附台周辺地区整備事業やツインシティー整備推進事業などの大型プロジェクトを次々に考えているようだが、人口構造の大変化など（次に記載の社会環境の構造変化）から、これまでのような右肩上がりの人口・経済を前提とした発想を、根本から変えていく必要がある。</p> <p>すなわち、①施設を建設するに際しては、建て替えをできるだけしないで済むような、長く使える施設を整備すること、②ツインシティー事業などの開発・整備にあたっては、人口減少時代に本当に必要な事業なのか、費用対効果を十分検討すること、③市の施設の整備などにあたっては、統廃合などをあわせて検討すること、を最低限考慮すべきである。</p> <p>また、市の総合計画は、人口などの前提を、数年前の予測のままを進めているが、将来を見据えた人口数などを改めて検討し直す必要がある。</p>	<p>新たな施設については、高度な耐震性を有し、地球環境にも配慮するとともに、長期使用を踏まえた計画に基づき整備を進めています。また、既存の施設については、平成18年に策定した「平塚市公共施設総合的管理基本方針」に基づき、予防保全を始めとした様々な手法により長寿命化を図りながら、施設の有効活用についても検討しています。</p> <p>大型事業の推進については、社会経済状況や人口の推移、事業の必要性、民間活力の活用などの検討をした上で、必要な施策を精査し、効率的、効果的に事業を進めてまいります。</p> <p>施設の適正な維持管理、計画的、効率的な再編を進めるため、来年度から施設再編計画の策定に向け検討するとともに、施設の整備、統廃合については、計画策定の中で考えてまいります。</p> <p>総合計画における人口推計は、平成23年度に総合計画基本計画の見直しの際、平成23年を基準年として、本市の将来人口の推計を行いました。今後は、現総合計画の見直しに合わせて、将来人口の推計を行う予定です。</p>

平塚市総合計画平成25年度版実施計画（素案）に対するご意見及び市の考え方

No.	対象事業名	パブリックコメント	市の考え方
2		<p>「人口構造の大変化など社会環境の構造変化」</p> <p>A 人口構造が変わり、生産年齢人口を中心に減少していくので、税収が期待できない。しかし、高齢者人口はますます増えるので、税金を使う人が増えて、財政が苦しくなる。</p> <p>一方、総人口も減少に向かうので、それを前提とした施設の統廃合などを真剣に検討し直すべきである。</p> <p>なお、先進的な公共団体では、既にこれを実行している。</p>	<p>今後、公共施設の建替えや少子高齢化などに伴う財政需要が増加する一方、市税収入は大幅な増加は見込めないため、財政状況は予断を許さないものと考えています。</p> <p>こうした状況の下、施設の適正な維持管理、計画的、効率的な再編を進めるため、来年度から施設再編計画の策定に向け検討するとともに、施設の統廃合については、計画策定の中で考えてまいります。</p>
3		<p>B 国の財政が極端に疲弊しており、そのしわ寄せがすでに地方財政に波及しているが、今後一層その傾向が高まることを覚悟した財政運営を心がけておく必要がある。</p> <p>また、大災害や緊急事態に備えて、ゆとりを持った財政運営を心がけるべきである。</p>	<p>今後、財政需要が増加する一方、市税収入は大幅な増加は見込めないため、財政状況は予断を許さないものと考えています。</p> <p>このため将来の負担が急激に増加しないよう、*プライマリーバランスに留意するとともに、徹底した歳出の削減と積極的な歳入の確保を行い、将来に備えた財政運営に努めてまいります。</p> <p>*【プライマリーバランス】・・・歳入から市債発行額を引いたものと、歳出から公債費（市債の元利償還金など）を引いたものの差で、基礎的な財政収支のことをいいます。</p>
4		<p>C 平塚市は従来、競輪の潤沢な資金を施設の整備に当てることができたため、多くの立派な施設（市民センター、中央公民館、博物館、美術館など）が整えられた。しかし、競輪の資金はこれから期待しにくい。競輪の客層の中心世代は50代の人だと聞いており、このままでは競輪事業そのものの維持すら難しくなるであろう。潤沢であった競輪資金で作られた公共施設の数が多すぎるので、集約すべきである。</p> <p>また、競輪場の大改修を計画されていますが、他の用途への転用が可能なものを検討すべきである。</p>	<p>施設の適正な維持管理、計画的、効率的な再編を進めるため、来年度から施設再編計画の策定に向け検討するとともに、施設の整備、統廃合については、計画策定の中で考えてまいります。</p> <p>改築予定の平塚競輪場メインスタンドは、地上4階建てで津波避難ビルの機能及び大型映像装置によるシアター機能を併せ持つ計画です。これまでも、災害時には避難所として使用しておりますが、東日本大震災を踏まえて、津波避難ビルとしても利用できるようメインスタンドの整備を計画しています。</p>

平塚市総合計画平成25年度版実施計画（素案）に対するご意見及び市の考え方

No.	対象事業名	パブリックコメント	市の考え方
5	サン・サンスタッフ派遣事業	派遣してくださるだけではなく、学校司書に関しては子どもに直にふれ合う司書としての技術・知識の向上の講習などの教育をお願いします。	<p>学校司書に対しては、説明会や連絡協議会を開催し、服務や子どもの見方、学校における著作権等についての研修及び学校図書館を活用した学習や読書活動の充実のための情報交換を行っています。</p> <p>また、校内においても司書教諭や管理職からのアドバイスや具体的な場面をとらえた指導を行うなど、知識や技術の向上に努めています。</p>
6	小学校学校図書館図書充実事業	<p>学校司書が全校配置されました。司書と先生方のコミュニケーションがあつてこそ、資料が生かされると思います。</p> <p>図書充実はもちろんです。授業などでの図書館の利用の仕方などの資料をいかにして活用するか、司書だけではなく先生方へのアプローチもお願いします。</p>	<p>学校図書館は、「生きる力」を育むために必要な知識や技能を習得する役割を担っていると同時に、学校の教育課程の展開に寄与していく使命も持っており、司書教諭をはじめ全教職員と学校司書とのコミュニケーションの充実を図っていくことは非常に重要と考えています。</p> <p>今後も、引き続き連携を深めながら、学校図書館が有効に活用されるように会議等を通じ呼びかけてまいります。</p>
7	中学校学校図書館図書充実事業	<p>学校司書が全校配置されました。司書と先生方のコミュニケーションがあつてこそ、資料が生かされると思います。</p> <p>授業などでの図書館の利用の仕方などの資料をいかにして活用するか、司書だけではなく先生方へのアプローチもお願いします。</p> <p>特に夏休みなどのレポートの課題は、図書館を利用すればクリアできるようなレクチャーを先生方から子どもたちへ伝えてほしいです。活用するための資料の充実であってください。</p>	<p>学校図書館は「生きる力」を育むために必要な知識や技能を習得する役割を担っていると同時に、学校の教育課程の展開に寄与していく使命も持っており、司書教諭をはじめ全教職員と学校司書とのコミュニケーションの充実を図っていくことは非常に重要と考えています。また、夏季休業中等の研究や課題のレポート作成のため、様々な資料から必要な資料を選び出し活用していくことも、子どもたちの成長につながるものと考えています。</p> <p>今後も、引き続き連携を深めながら、学校図書館が有効に活用されるように会議等を通じ呼びかけてまいります。</p>

平塚市総合計画平成25年度版実施計画（素案）に対するご意見及び市の考え方

No.	対象事業名	パブリックコメント	市の考え方
8	こころと命のサポート事業	<p>この事業は、全国で珍しい事業で平塚市の特徴といえると思います。平塚市広報で、毎号のように目立つスペースに載せてアピールしてほしいです。子どもも大人も、命の尊さを大事に思っている市民でありたい。</p> <p>浜岳学区子ども読書活動推進協議会と協働で、絵本などの紹介事業をしていますね。毎号でなくても各号でもその本の紹介をしてはいかがでしょうか。</p> <p>広報活動に力をいれて、こころと命のサポートを市民全体で支える事業にしてほしいです。</p>	<p>この事業を推進するためには、市民の皆様に命の尊さや自殺防止に関する理解を深め、正しい知識を身に付けていただくことが重要です。</p> <p>そのため、各種広報媒体を活用して、普及啓発に努めており、引き続き事業の推進を図ってまいります</p>